

岩井マサさんと市長対談



今年の敬老の日は9月21日、市内全域で敬老の皆さんをお祝いする敬老会が、それぞれの地元の皆さんで催されました。敬老の日は、長い間社会のために尽くしてこられた高齢者を敬い長寿を祝うとともに、高齢者の福祉に関心を深め、高齢者の生活向上を図ろうという気持ちでこめられた祝日です。

今回は敬老の日になみ、8月11日に100歳になられた人生の大先輩・岩井マサさんのご自宅(原口町)を市長が訪ね対談しました。その時のようすをお伝えします。

— 元気で長生きするための —

100歳からのメッセージ

— 生い立ちを簡単にお話してもらえませんか。 —

私は神奈川県横浜出身で、6人兄弟の長女として誕生しました。18歳のころ、東京の華族に住み込みでお手伝いなどをしながら働き、24歳の時、昭和天皇の侍従官だった夫と結婚し、4人の子どもに恵まれました。

今は、娘夫婦と同居することになり、市内に移り住んでいます。

— これまでの人生経験の中で、印象的なことは何ですか。 —

関東大震災も恐ろしかったですが、やはり辛かったことといえば戦争体験でした。子どもを背負って逃げる途中、髪に火が付き背負った子どもの顔がやけどしたり、家が焼け落ちたりなど逃げ回る毎日でした。

— 長生きの秘訣といいますが、食事などで気をつけていることはありますか。 —

酸味のある食事を好んで食べますが、好き嫌いしないで何でも食べることがいいのかも知れません。好物は、黒砂糖や蜂蜜につけた梅干しです。若い時は、日本酒が好きで飲んでいた時期もありましたが、今は、梅酒をたしなむ程度で飲んでいきます。

100歳の誕生日 おめでとうございます



岩井マサさん(明治42年8月11日生まれ)がめでたく100歳を迎えられ、市長が原口町のご自宅を訪問し、ご家族と長寿をお祝いしました。これからもお元気で長生きしてください。

— 体調が悪い時期があったそうですが。 —

2年ほど前、介護度4で寝たきりに近い時がありました。今は、リハビリなどを通して要支援まで回復しています。

— 健康で気をつけておられることは? —

手押し車を使っていますが、買い物にもなるべく出かけるようにしています。ゲートボールは95歳まで20数年続けてきました。今は、チラシを再利用してお菓子入れやお手玉を作って、近所に配っています。

「もっと気持ちよく

あいさつしてほしいですね。」



メモを取ることが好きでいろいろと取っています。その日のできごとや食事は朝・昼・晩のメニューを寝る前にノートに清書しています。

— 毎日の日課はありますか。



— 趣味は何ですか。

運動は何でも好きですが、特に水泳が好きでよく泳いでいました。スポーツ観戦はサッカー、相撲、野球などよくテレビを見て応援しています。政治にも興味があり、家族と話題にしていますよ。

— 大村に移り住んだ印象はどうですか。

大村の人は、人情味があつていい人ばかりです。野菜を持つてきてくれたり、病気の時は友だちが気がけてくれたり、100歳の誕生日の時もみんなに祝福してもらいました。老人会でもかわいがつてもらつて感謝しています。

— 最後に今の若い世代に対して、伝えたいメッセージなどありますか。

朝のあいさつなど、向こうから声かけしてくれることもあります。こちらからあいさつしても返つてこない時が寂しいです。あいさつはもっと気持ちよくしてほしいですね。

大村市の状況

- ◇65歳以上の人
17,646人(8月末現在)
- ◇100歳以上の人
25人(男2人 女23人)
- ◇最高齢 107歳

○「シルバーパワーアップ事業」

～高齢者の運動器の機能維持・回復

1回150円で、シーハットおおむらのトレーニングルームと市屋内プールが利用できます。

○「高齢者リフレッシュ事業」

～温泉施設を利用した介護予防・健康増進

65歳以上の方は、1回200円で市が指定する天然温泉施設を利用できます。



■長寿介護課 ☎207301



市長:今日はパワーをいただきありがとうございました。これからも元気で長生きしてください。

約1時間の対談でしたが、終始笑顔が絶えず、大きな声で笑っておられました。途中、歌まで披露していただき、大きな声でしっかり歌われたことが印象的でした。長寿の秘訣はこのあたりにも隠されているのかもしれませんが。岩井さん、本当にありがとうございました。これからも元気で長生きしてください。